



学校だより

# かりがね

富士市立岩松中学校

令和6年4月9日

学校教育目標 「いつでも自分から動く子」「わたしもあなたも大事にする子」「学びを楽しみ、表現する子」「つながりながら成長する子」

## 入学、進級おめでとございます。

岩松中学校の令和6年度の教育活動が、いよいよ始まりました。始業式には、新任職員の紹介や新年度に向けた代表生徒の抱負に目と耳を傾けて真剣に向き合う、2・3年生の姿がありました。

入学式は、182名の新生入生、在校生、保護者様、PTA会長様、来賓の方々、教職員の参加となりました。新生入生一人一人の顔には、中学校生活への大きな希望が溢れていました。

岩松中生全員が地域を愛し、自らの成長を実感できる一年となるよう、職員一同、一致団結し努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 学校教育目標「い・わ・ま・つ」

岩松中学校は、昭和22年の創立以来、地域に根ざし、新たな伝統の創造と改革を掲げ、歩み続けている学校です。また、今年度から始まる小中一貫教育を意識し、二年前から学校教育目標を「い・わ・ま・つ」とし、日々の教育活動を行っています。「い・わ・ま・つ」は、それぞれ四つの具体的な目標の頭文字をとっています。この目標は、岩松小学校、岩松北小学校、岩松中学校の三校の先生方が何度も話し合い決定した、小学校、中学校の9年間で、こんな子どもになってほしいと願う姿です。「い」は「いつでも自分から動く子」、「わ」は「わたしもあなたも大事にする子」、「ま」は「学びを楽しみ、表現する子」、「つ」は「つながりながら成長する子」です。ぜひ、これから学校教育目標の「い・わ・ま・つ」を意識して、みんなで目指してほしいと思います。

学校生活では、さわやかな挨拶、友達に対する温かい関わり、熱心に取り組む部活動、仲間と学び合う積極的な学習など、素晴らしい活動がたくさんあります。後ろでみなさんを見守っている2年生、3年生の先輩たちが、きっと立派に、お手本を示してくれると思います。先輩たちを見習い、「自分の良さを伸ばしてほしい」と思います。～入学式の校長式辞より抜粋～

## 重点目標「主体性を高め、語り合う学校」

### 学校経営目標

#### (1) 深い学びの実現を目指す授業づくり

- ・ 学ぶ楽しさを実感できる授業
- ・ 主体的・対話的で深い学びを目指す（ICTの活用・学び方の研究）
- ・ 学ぶための基礎・基本の力の育成及び家庭学習の習慣化

#### (2) 互いの良さを認め合い、高め合える仲間づくり

- ・ 自己肯定感を高める心温かな人間関係づくり
- ・ 特別支援・インクルーシブ教育を中心とした学習環境づくり
- ・ 教科・領域を通して取り組む実践的な道德教育
- ・ 子どもの思いを生かした特別活動

#### (3) 信頼される、開かれた学校づくり

- ・ 「元氣な挨拶と正しい姿勢」を意識した基本的な生活習慣の確立
- ・ 「考える体育授業」を通じた主体的な体力づくりの推進
- ・ 危険予知・回避能力を高める安全指導と環境整備の充実
- ・ 特色ある給食室を活用した食育指導及び保護者と連携した適切なアレルギー対応

#### 【数値目標】

- ・ 授業で学びをたのしんでいる。 ⇒90%
- ・ 自分の考えや意見を仲間に伝えることができる。 ⇒90%

#### 【数値目標】

- ・ 仲間の考えや話に耳を傾けることができる。 ⇒100%

#### 【数値目標】

- ・ ボランティアや地域行事へ積極的に参加する。 ⇒50%
- ・ 校内に相談できる先生がいる。 ⇒80%

## 入学式における、新入生誓いの言葉を紹介します

### 入学生代表 誓いの言葉

少しゆっくりと訪れた春のお陰で、桜の花が入学式にあわせた様に咲き始め、まるで今日の私たちの門出を華やかに祝ってくれているかのようです。

本日は、私たち新入生のために、このような立派な入学式を行ってくださりありがとうございます。

今年度から新しくなった制服に身を包み、今日、誰もが期待と不安を胸にこの日を迎えられたことを大変嬉しく思っています。

「自分はどの様な中学校生活を送りたいのか」と考えた時、まず心に浮かんだのは「安心して過ごしたい」という事でした。

私にとって、「安心感」はとても重要です。小学校の四年間、コロナによる様々な制限や環境の変化は、私たちに色々な形で不安の影を落としました。昨日までの常識がいきなり変わってしまう体験は「辛い・・・つまらない」そんな気持ちを思い知らされるものでした。

その一方で、どんな状況でも、みんなでアイデアを出し合い、工夫しながら「安心感」と「楽しい」と思える日常を見つけることもできるようになってきました。寂しさや不安は誰の心にもあるのですが、私はみんなの笑顔が見えると、とても安心します。安心感は遠くにはなく、いつも私のすぐ傍にありました。私は、みんなで笑顔になるために、大きな事にも柔軟に対応する力を身につけてきたように思います。今、私は小学校の時とは違う環境で、先生や先輩方と上手くやっていけるだろうか、新しく知り合う仲間と仲良くやっていけるだろうか、まだ起きていない未来に緊張しながら考えたりしています。でも、すぐ傍に仲間がいること、相談できる先生や先輩方、家族や地域の方がいらっしゃることを忘れずに、しんどい時ほど一人で頑張らず、皆一緒に、私も笑顔になって、安心感を増やしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

先日、私は新しくできたかりがね橋を自転車で渡りました。風でジャンパーが揺れている感じが爽快で、心がとても落ち着きました。橋の上からの景色は、新しい道ができ、私の知っている景色とは少し変わっていました。でも、富士川の流れは今までと変わらず雄大で少し怖い感じも受けました。

このように、環境が変わっても、変わらず大事なものがあることを、私たちは知っています。

変化していく世の中で、いつ、何が起こるかわかりません。それでも、私たちは自分の中に自信や安心感など、確かなものがあれば、頑張れることも知っています。だからこそ、この学校生活での日々が、どんな困難にも柔軟に向き合える力となると信じて、どんな事も今を生きる力に変えていくことを誓います。

令和六年四月五日 新入学生代表  
原田 真匠

## コミュニティスクールが始まります。

学校運営協議会（コミュニティー・スクール）が始まります。5月30日（木）に、岩松中学校の学校運営協議会が発足し、第一回の会議が行われる予定です。1回目は、学校の様子を見ていただきながら、学年の状況を学年主任等から伝えようと計画しています。10人の委員さんは、みなさん岩松中に縁のある方々です。今後は、家庭・地域・学校が一緒に課題解決に向けて、話し合いを進めていきたいと思っております。内容等は、今後、各だよりなどでご覧ください。

コミュニティー・スクールとは… 学校運営協議会を設置している学校の事を言います。学校運営協議会とは、「地方教育行政の組織および運営に関する法律 47 条の 6」の規定により、学校に置くように努めなくてはならない機関であり、保護者や地域のみなさんが一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みです。子供たちを取り巻く環境は「複雑化」「多様化」しています。子供たちや地域の輝く未来を作るためには、「学校」「家庭」「地域」が一体となって取り組む必要があります。そのため、今後は学校だけでなく、保護者や地域住民が協働して地域性を生かした学校運営を進めるための仕組みです。